

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 749 号 令和 5 年 10 月

目次

○令和 5 年度産業動物講習会開催報告（産業動物部会委員 豊浦支部 直井先生）	1
○令和 5 年度中国地区獣医公衆衛生講習会（公開講座）開催案内	1
○獣医学術中国地区学会参加報告（常務理事）	4
○リレー随筆（長北支部 大石先生）	6
○山口大学支部投稿（山口大学支部 上林先生）	7
○麻薬免許更新手続きについて（山口県薬務課）	8
○お願い 図書への寄贈について	9
○時重初熊先生墓碑掃苔供養の集い開催案内	10
○事務局だより	10

令和 5 年度産業動物講習会開催報告

産業動物部会委員 豊浦支部 直井 秀明
(下関農林事務所畜産部)

9月23日(土)、山口市KDDI維新ホールにおいて、令和5年度産業動物講習会が開催されました。

昨年の講習会時にいただいたご意見を踏まえ、新たな試みとして会員以外に広く参加者を募る公開講座とし、また、高病原性鳥インフルエンザのシーズンを考慮し、昨年より1月以上時期を早めての開催

となりました。

講師に 大山乳業農業協同組合 酪農指導部 指導課長 松井秋子先生をお招きし、会員や酪農家、関係団体、山口大学共同獣医学部学生等53名（内会員28名）が参加され、会場の席がほぼ満席となる活気のある講習会となりました。

お知らせ

令和 5 年度中国地区獣医公衆衛生講習会（公開講座）のご案内

中国地区各県獣医師会が輪番で開催している獣医公衆衛生講習会を、今年度は、本会の主催により、公開講座として次のとおり開催します。

皆様の参加をお待ちしています。

- 日 時：令和 5 年 11 月 19 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分
- 会 場：山口グランドホテル 2 階孔雀の間（山口市小郡黄金町 1-1）
- 演 題：「なぜ、今、ワンヘルスカ？ ～ 獣医師にとってのワンヘルス～」
- 講 師：(公社)福岡県獣医師会副会長・アジア獣医師会連合 (FAVA) 福岡オフィス事務局長
今村和彦先生

○参加方法：会場参加とオンライン参加の併用

○参加費：無 料

○参加申込：11月8日(水)までに、本会事務局あてに、次の事項を記載してメールで申し込んでください。
参加申込メール受信後に確認メールを送信します。

※3日経過後も確認メールが届かない場合は事務局に連絡してください。

①会場参加・オンライン参加の別 ②所属(勤務先) ③氏名 ④住所 ⑤電話番号

松井先生には「大山乳業酪農指導部～鳥取県の酪農を支える縁の下の力持ち～」という演題でご講演をいただきました。

先生は、和歌山県田辺市のご出身で、大阪府立大学農学部獣医学科をご卒業後、大山乳業農業協同組合において繁殖検診、乳質指導、営農指導、補助事業等に從事され、昨年からは指導課長を勤めておられます。

大山乳業の概要としては、現在91戸、経産牛約6千頭、令和4年の平均で乳脂肪率3.93%、無脂乳固形分率8.90%、細菌数1.0万/mL、体細胞15.2万/mLと全国に誇れる優秀な乳質を維持し、鳥取県の頭数ベースで99.4%を網羅する乳用牛群検定実施率は日本一とのことでした。

本講習会では、先生が所属される指導課の業務について、乳質指導、飼養管理指導、地区酪農組合事務局、牛群検定事務局、牛群検定立会、プロジェクト（暑熱対策、自給飼料生産支援）活動、経営検討会、経営継承支援、従業員研修、補助事業（施設整備、機械導入、飼料高騰対策）、白バラ認証制度等、多岐にわたってご紹介いただきました。

具体的には、ラクトコーダを用いた搾乳手技の確認として、乳頭刺激からミルカー装着までを適正に1分程度で行った場合に比べ、3分経過してから行った場合にはミルカーの離脱まで約3分の搾乳時間の遅延が起これ、ミルカー装着時間（真空にさらされる時間）が長くなることで過搾乳となり乳頭口が開きやすくなり乳房炎を起こしやすくなること。加えて、1頭に係る搾乳時間が延長することで作業自体の労力も増大してしまうこと。また、ATPふき取り検査による衛生状態の把握、ラクトコーダを用いた器具の洗浄温度及び水量、時間の計測、洗剤の混合方法の適否の測定についてわかりやすく解説していただきました。

さらに、自記温度計によるバルククーラーの乳温と警報の記録により、洗浄温度の異常、冷却スイッチの入れ忘れ、保冷温度の異常等をモニタリングでき、積算乳温から合乳前に安全かどうかを細菌検査で確認する等、安心・安全を担保する仕組みを組合

として作っていることが紹介されました。

加えて、「白バラ認証制度」という、生産者の自主的な衛生管理を第三者が評価する仕組みを作り上げられていることが紹介されました。これは、家畜伝染病予防法の飼養衛生管理基準と中販連の生乳生産管理チェックシートの重要管理点を抜粋した独自の基準で農場を評価する制度で、重要管理点が1つでも不遵守だと高得点でも認証されない一方、認証されると生乳の買い取り単価が上昇し、更新されるごとに毎年1枚牛乳瓶型の認証マークが農場の掲示板に増えていくという、目に見える形にもなっているそうです。

乳房炎対策としては、選択培地を用いた乳房炎起因菌を推定する取り組みと、結果判明まで抗生剤を使用しないことで抗生剤の乱用防止に繋がっていると説明がありました。検査した検体の内、積極的な抗生剤治療の対象となるものが約4割という結果には考えさせられます。昨年度の講習会に続き、投薬をしない判断も獣医師の大切な役割だと再認識しました。

先生の「大切にしていることは、それぞれの機関、団体の特性と役割を理解し、リスペクトを持って連携をすること」という言葉には、関係者が一体となった取り組みを日々されている様子が伺えました。

現在、畜産農家、特に酪農家は、空前の飼料高騰等のコスト増加に直面しています。この度、休日でありながら、関係する団体、機関から多くの参加があり、本講習会が少しでも畜産経営の向上に寄与できれば願っております。遠いところからお忙しい中お越しいただき、時間ギリギリまで真摯に、時には赤裸々に質問にお答えいただき、松井先生には心から感謝申し上げますとともに、引き続きのご指導をお願いしたいと思います。松井先生、大変有意義なご講演をありがとうございました。

獣医師会ホームページの「会員専用」コーナーに講習会の動画が掲載されていますので、参考にしてください。



講演される松井秋子先生



質問される 山口支部 谷口亜沙子先生



質問される長北支部 横山明宏先生



謝辞を述べられる 長北支部 大石大樹部会長



携帯で、テキストを英語に変換している
山口大学共同獣医学部の留学生



会場の様子

令和5年度獣医学術中国地区学会参加報告

常務理事 酒 井 理

令和5年9月30日(土)～10月1日、JR米子駅前の米子コンベンションセンターで開催された「令和5年度獣医学術中国地区学会」に出席しましたので、その状況を報告します。

《学会》

第1日目(9月30日)は、日本産業動物獣医学会(中国地区)及び日本獣医公衆衛生学会(中国地区)がそれぞれ開催されました。

第2日目(10月1日)は、これらに加え、日本小動物獣医学会(中国地区)が2会場に分かれて開催されました。

各県獣医師会から推薦されたいずれも質の高い研究内容に対して、活発な意見交換が行われました。

発表演題数は次のとおりです。

区 分	発 表 数	本県発表数
産業動物	38 題	4 題
小動物	58 題	16 題
獣医公衆衛生	28 題	5 題

本会会員の発表は、産業動物3題、小動物5題、獣医公衆衛生2題であり、多くは山口大学共同獣医学部の学生等による発表でした。指導教官の先生方のご指導・ご協力に感謝いたします。

各学会の発表終了後に、審査会が行われ、獣医学術中国地区学会長賞に、産業動物2演題、小動物3演題、獣医公衆衛生2演題が選出されました。これらの演題は、12月に神戸市で開催される第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会で発表していただくこととなります。

本県からは、日本獣医公衆衛生学会(中国地区)において、次の演題が選考されました。おめでとうございます。

「大学キャンパス内の野良猫数管理において奏功した事例」

○西本美晴 前原光主穂 石田千穂 福永茅広
渡邊健太 (山口大学共同獣医学部)

《市民公開講座》

第1日目15時30分から、一般社団法人里山生物多様性プロジェクト 野口浩二先生から、「南部町の自然観察指導員が教えてくれた生き物を通じてみる

南部町の魅力～日本一の里地里山を目指す私たちの挑戦～」という演題で、講演がありました。

《表彰式》

第1日目17時からの表彰式では、次の受賞者に、表彰状や表彰楯が授与されました。

- ・日本獣医師会会長表彰 9名
 - ・中国地区獣医師会連合会会長表彰 22名
 - ・令和4年度獣医学術中国地区学会長賞表彰 7名
- 本会会員の受賞は次のとおりです(順不同、敬称略)。受賞者の皆様 おめでとうございます。永年の取組みに敬意を表します。

- ・日本獣医師会会長表彰受賞者

河上 茂(岩柳支部) 森 章(山口支部)

- ・中国地区獣医師会連合会会長表彰受賞者

作間誠司(山口支部) 中市統三(山口大学支部)

山本幾治郎(宇部厚狭支部)

- ・令和4年度獣医学術中国地区学会長賞受賞者

「脾臓摘出後に顕在化した犬バベシア症の30例」

白永伸行(徳山支部)

《歓迎交流会》

第1日目18時から、歓迎交流会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の獣医学術中国地区学会は中止され、令和3年度はオンライン開催となりました。また、昨年山口市で開催した「中国地区獣医師大会・令和4年度獣医学術中国地区学会」では、感染拡大防止のため歓迎交流会を中止しました。

今回は、4年ぶりに中国地区各県の会員等が集まったの宴に、皆さん楽しんでおられました。

9月30日朝、山口線が一時不通になり、「特急おき」を利用する学会参加者は、急遽山陽新幹線経由で米子に向かうという不測の事態もありましたが、無事に2日間の学会が終了となりました。

来年度は、島根県獣医師会の主催により、令和6年10月19日(土)～20日(日)に、JR松江駅前の松江テルサで、「第51回中国地区獣医師大会・令和6年度獣医学術中国地区学会」が開催されます。

これに向けて、調査・研究への取組み よろしくお願ひします。



産業動物獣医学会で発表される
原田幸治先生（長北支部）



獣医公衆衛生学会で発表される
渡邊健太先生（山口大学支部）



表彰式会場の様子



本県受賞者 左から 白永伸行先生（徳山支部）
作間誠司先生（山口支部）
中市統三先生（山口大学支部）



小動物獣医学会会場の様子



医療器材等展示会場の様子

リレー随筆

長北支部 大石大樹
(長門農林事務所畜産部)

久しぶりにリレー随筆のバトンを受け取りました。今年の4月から私自身が異動となり、業務も大きく変わりましたが、小学2年生の息子が野球を始めたことで休日の過ごし方も大きく変わりました。3月に野球のWBCの侍ジャパン優勝、特に大谷翔平の影響をまろにうけ、野球をやってみたいと言ってきました。土日の午後に公園につれていって発散させるのも限界に達していたので、何か習い事をさせようかな…と思っていたタイミングでもありました。

私自身は野球を教えられるレベルには到底なく、ここはプロにお任せしようと、近所の方からもらった子供用グローブを持って、体験練習に参加してみました。

地域のスポーツ少年団は1～3年生はジュニアチーム、4～6年生はシニアチームに分かれていて、練習もジュニア、シニアが別々にやっています。ジュニアの体験練習に行くと、同じく2年生の体験の子が4人ぐらい、1年生の子が1人、年長さんの女の子が1人いて、今年はWBCの影響からか体験の参加者が多いとのこと。昔は野球をやる子はたくさんいましたが、今は子供の数が減っていて、サッカーやほかのスポーツ（eスポーツも！）をやる子も多いので、1チーム作れないような学校もあるようです。息子の小学校も2年生130人ぐらいはいますが、野球やっているのは6人。これでも多い方ようです。

練習は毎週土日の午後1時から6時までで、お休みは雨の日と第三日曜日のみ。けっこうハードだなと思いましたが、チームによっては午前中もやるというところもあり、「野球は大変よ」と周りの人に言われていたとおり、親の方も大変そうだなと思いました。本人はやる気いっぱいだったので、ユニフォー

ムを揃えて、6月に正式に入団しました。

野球部といえば、「厳しい」スポーツで、ノックに食らいつき、素振りをひたすらやっているようなイメージでしたが、ジュニアではまず野球を好きになってもらおう、野球を楽しもうというスタンスのようで、子供たちはみんなとにかく楽しそうです。練習中もコーチが話をしている時も友達とつつきあったり、セミが鳴けばみんなそっちに気をとられたり、守備でボールが飛んでこないと不満を言ったり、座り込んでお絵描きを始めたり、けんかをしたりと賑やかですが、この数か月でみんな目に見えて上手になってきています。私はというとキャッチボールの相手をしたり、守備の足りないところを守ったりして、適度に運動ができていて、今のところ良い感じです。

子供たちの成長が早く、いつまでお役に立てるかわかりませんが、ジュニアの間は一緒に楽しんでいこうかなと思っている今日この頃です。

今回は、山口農林事務所畜産部の遠藤泰治先生にバトンタッチします。よろしくお祈いします！



山口大学支部からのご案内

山口大学支部 上 林 聡 之

(山口大学共同獣医学部)

山口大学支部の上林です。毎年、原稿を依頼するも断られてしまうので結局自分で書くことになっています。せっかくの機会ですので、こちらでもいくつかご案内を出させていただきます。

1つ目は「山口大学獣医学科創立80周年記念事業」についてです。どこを開始とするかにもよりますが、山口高等獣医学校を獣医学科の設立とした場合、2024年をもって山口大学獣医学科の創立80周年を迎えることとなります。山口市（旧小郡町）の獣医師会館の近くに記念碑があることをご存じの方も多いかと存じます。山口大学では創立80周年を記念した事業を開催することとしました。詳細は、<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/80th/>よりご覧いただき、ご支援・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

私も山口大学卒業生の一人として、微力ながらお手伝いをさせていただいております。会議では、「寄附をお願いしろ」という感じのことを、口を酸っぱくして言われておりますので、どこかのようにはノルマはありませんが、みなさまどうぞよろしく願いいたします。

2つ目は「山口大学動物医療センター総合臨床セ

ミナー」についてです。以前より年1～2回程度を目安に開催している勉強会ですが、第20回となる今回は外部より講師の先生を招いての講義形式で12月17日(日)に開催することになりました。

講師として日本小動物がんセンターの小林哲也先生、ノースラボの賀川由美子先生をお招きし、「知って得する生検法のコツとツボ」のタイトルでお話いただく予定です。

ご案内は今後、会報や山口大学動物医療センターのHP等に掲載する予定ですので、御覧ください。

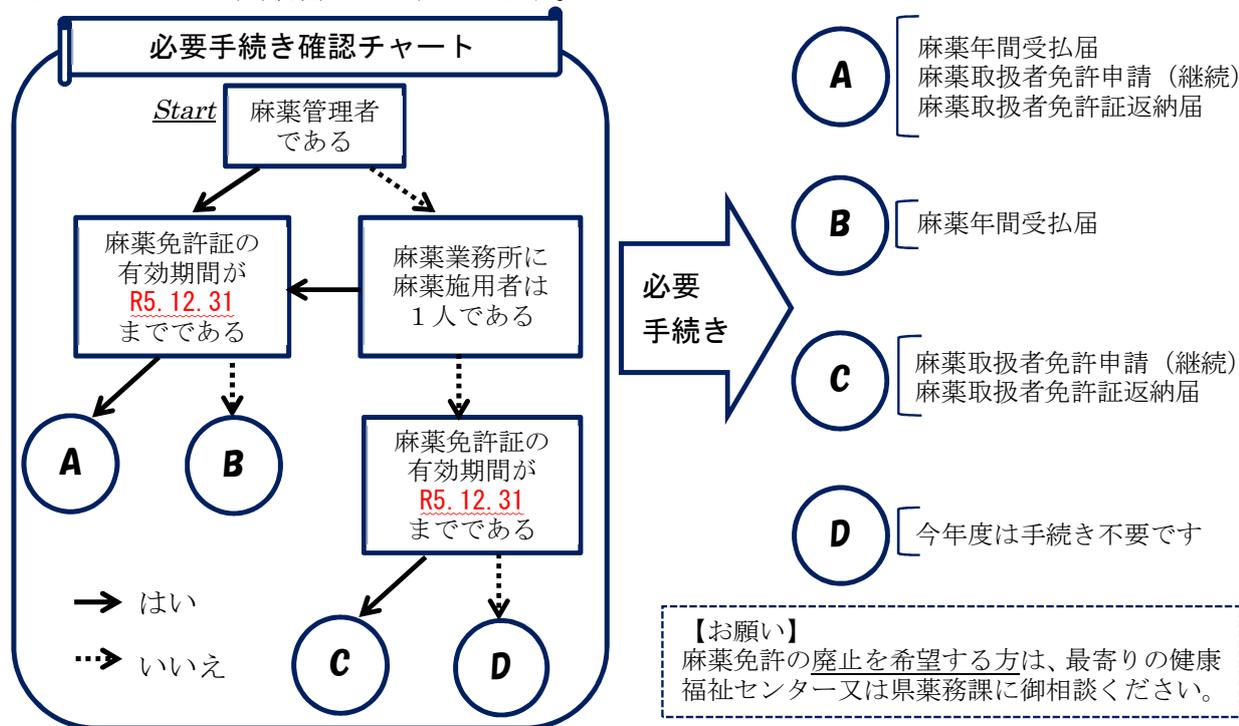
私は普段、犬と猫の内科二次診療を行っていますが、生検の際に「ちょっと微妙なサンプリングだったかな～、いけるかな～」と思うことがたまに（本当にたまにですよ）あります。基本的にそのようなときはもう1回サンプリングするようにしていますが、やはり自分で手応えがない方のものは結果も微妙なことがあります。個人的にもぜひ聞いてみたいと思っていた部分ですので、開催側ではありますが楽しみにしております。臨床の先生方、ふるってご参加ください。



<麻薬管理者・施用者向け>

【重要】麻薬免許証をお持ちの方へ～手続きの御案内（山口県薬務課）～

麻薬取扱者は、10月から1月にかけて所定の手続きが必要となります。
 必要な手続きは免許種別や免許取得年等によって異なります。以下のチャートを参照し、手続き漏れのないよう御確認をお願いします。



【各手続き詳細】

麻薬年間受払届	麻薬取扱者免許申請(継続)	麻薬取扱者免許証返納届
<p>◆対象者 チャート中 ①、②該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬年間受払届 2部 (正本1部、副本1部)</p> <p>◆提出期限 令和5年11月30日</p>	<p>◆対象者 チャート中 ①、③該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許申請書 1部※ ・診断書(1ヵ月以内に作成されたもの) 1部※ ・(変更時のみ)麻薬保管設備等図面 1部※ ・手数料(県証紙) 4,300円分 ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出目安時期 令和5年11月30日まで</p>	<p>◆対象者 チャート中 ①、③該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許証返納届 1部※ ・有効期間が満了した麻薬免許証 1部※ ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出期間 令和6年1月1日～15日 (年始は1月4日から開庁します)</p>

【留意事項】

- 各様式は、山口県薬務課のHP又は最寄りの健康福祉センターで入手してください。山口県薬務課のHP内「麻薬関係手続きについて(既免許者向け)」のページには、記載例も掲載しています。(https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/48/101545.html)
- 提出窓口及び新免許証受け取り窓口は、管轄の健康福祉センター又は下関市立下関保健所です。開庁時間(平日8:30～17:15(12月29日から1月3日までを除く))にお越しください。提出は郵送も可。
- 新免許証は12月13日(水)以降に受け取りにお越しください。ただし、御提出の遅れや不備事項があった場合には、新免許証のお渡しが遅くなる場合があります。

※麻薬業務所が防府市内にある方へ
12月14日(木)13時～16時のみ、防府保健所での新免許証受け取りが可能です。防府保健所での受け取りを希望する場合は、麻薬取扱者免許申請書(継続)の余白部分にその旨を記載してください。

★お問い合わせ窓口★

各健康福祉センター(岩国、柳井、周南、山口、宇部、長門、萩)
 ※下関市内の事業者の方は県薬務課へお問い合わせください。
 (詳細は右記QRコードをご参照ください。)



薬務課 HP

お願い

獣医師関連図書の寄贈について

県獣医師会館2階の図書室には、獣医学や医学、畜産学、獣医公衆衛生等、獣医師関連の雑誌や図書を所蔵し、会員の皆様にご覧いただいております。

図書室資料を充実するため、会員の皆様から獣医師関連図書の寄贈を受け付けることとしました。希望される方は、本会事務局に連絡して下さるようお願いいたします。（図書寄贈申込書は、本会ホームページ各種様式コーナーに掲載しています。）

なお、寄贈いただいた図書の取扱いについては、本会に一任していただきます。

山口県獣医師会 事務局宛

図 書 寄 贈 申 込 書

下記の図書を山口県獣医師会館図書室に寄贈します。これらの受入の判断及び今後の取扱いについては、山口県獣医師会事務局に一任します。

日 付： _____

書 名： _____ (ほか 冊)

氏 名： _____

所 属： _____

住 所： _____

電話番号： _____

ご記入いただいた個人情報は、本会の図書管理のためのみに使用し、この目的以外に使用することはありません。

受付年月日	受付担当者

お知らせ

日本近代獣医学教育の開祖 時重初熊先生墓碑掃苔供養の集い

日本近代獣医学教育の祖、特に「馬の仮性皮炎」研究の第一人者として、当時国際的にも知られた故時重初熊先生（1859～1913年、東京帝国大学教授（獣医学博士・農商務省獣疫調査所長兼任等）は、旧徳山市戸田のご出身です。

徳山支部との共催により2年に一度行っている時重先生の墓碑掃苔供養を、下記のとおり実施することとしました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

○日 時：令和5年10月29日(日) 午前8時30分 現地集合

○場 所：周南市戸田山 蔦ヶ迫共同墓地

国道2号線を防府から徳山方面へ向かい、椿峠をくだった最初の信号（苔台入口バス停手前）を右折して旧道に入り、車で2～3分

○申 込：10月25日(水)までに、本会事務局に連絡してください。

お知らせ

10月・11月の主な行事(予定)

10月4日 ・山口大学共同獣医学部動物供養祭（山口大学）

10月5日 ・山口県獣医師会検討会議（県獣会館）

10月13日 ・日本獣医師会総務委員会（東京都）

10月19日 ・第1回支部長会議（県獣会館）

10月29日 ・時重初熊先生墓碑掃苔供養（周南市）

11月2日 ・第3回理事会（県獣会館）

11月5日 ・中国地区小動物講習会（広島市）

11月19日 ・中国地区獣医公衆衛生講習会（山口グランドホテル）

11月22日 ・日本獣医師会会長会議（東京）

事務局だより

9月1日 ・山口県装蹄師会理事会・総会（県農業共済組合）

9月21日 ・動物供養祭（徳山動物園）

9月23日 ・令和5年度産業動物講習会（公開講座）（KDDI 維新ホール）

9月25日 ・県学事文書課立入検査（県獣会館）

9月26日 ・会報編集委員会（県獣会館）

9月28日 ・鶏病研究会山口県支部総会・研修会（中部家畜保健衛生所）

9月29日 ・中国地区獣医師会連合会事務担当者会議（米子市）

9月30日～10月1日 ・獣医学術中国地区学会（米子市）

9月21日 事業推進会議

次回編集委員会 10月24日(火) 13:30～

山口県獣医師会会報 第749号 令和5年10月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

令和5年度獣医公衆衛生講習会

演題

なぜ、今、ワンヘルスか？
～ 獣医師にとってのワンヘルス ～

ヒトと動物、それを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、人と動物の健康と環境の保全を担う関係者が緊密な協力関係を構築し、分野横断的な課題の解決のために活動しようとする考え方ワンヘルス(One Health)についてお話していただきます。

講師

いまむら かずひこ

今村和彦先生

公益社団法人 福岡県獣医師会 副会長

アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィス事務局長

開催方法

会場参加とオンライン参加の併用

日時

令和5年11月19日（日）13時30分～16時30分

会場

山口グランドホテル 2階 孔雀の間（山口市小郡黄金町）

参加費

無 料

申込方法

令和5年11月8日(水)までに、本会事務局あてに、次の事項を記載してメールでお申し込みください。

- ①会場参加・オンライン参加の別 ②所属（勤務先）③氏名
④住所 ⑤電話番号（日中連絡がにつながる番号）

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

電話：083-972-1174（平日9～17時）

FAX：083-972-1554

ホームページ：http://www.yamaguchi-vet.or.jp/

メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

